

いなづま

題字 小寺 寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合
 編集総務部
 住所 函館市日乃出町7番22号
 印刷所 有限会社 畠山印刷



謹賀新年

新年のご挨拶

理事長 大倉伸夫



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

万年不況といわれてきた道南も、全国的な経済成長の恩恵を受け、特に青函トンネル開通以来、観光を頂点に未曾

有の好況が続いております。

これ従えに主導諸官庁をはじめ関係者のご努力の賜と感謝申し上げる次第であります。

さて、我々電設工事業界も、電気工事業法ならびに電気工事士法が改正され、新らしい時代を迎えました。又、建設業法による施工管理技士制度も実施されることになり、電気工事業者はこれらに対応する技能者の育成・確保は急務であります。しかしながら、若年労働者をはじめとする人手不足は益々深刻化し、これを解決するためには、週休二日制、労働時間短縮を含めた労働条件の改善、福利厚生の充実等やらなければならぬ問題が山積しており、しかもこれからもつくり考えてというような社会情勢ではありません。この景気も今年の夏頃までといわれておりますので、今から足腰のしつかりした経営にしておくことが大切です。

どうぞ今年も事故がなく、好景気の一 日も永く続くことを祈念して、新年のごあいさつといたします。



新年のごあいさつ

北海道電力株式会社 営業所

所長 平尾 康一

明けましておめでとうございます。皆様には、平成三年のお正月をすこやかにお迎えのことと、お喜び申しあげます。

ここ数年の道南地方の経済は、極めて順調に推移し

ており、電気の使用量から見ましても、前年度対比の伸び率で、昭和六十三年度十一・二パーセント、平成

元年度八・四パーセント、二年度上期八・一パーセン

トと、全国・全道の伸び率を大きく上回っております。

企業の生産活動に限らず、企業誘致や観光面などの好調

さをうかがわせる形となりました。

この様な状況の中で、当社の電気供給について考

ますと、本年の営業運転に向けて、泊原子力二号機の

建設も順調に推移し、昨年末には負荷百パーセントの

試験運転に入っております。営業運転時には原子力、

海外火力を中心とした、電源の多様化が一応完成す

る見通しでございます。

これによって、エネルギー情勢が中東湾岸危機によ

り極めて不安定な状況にある中で、道内のエネルギー

供給の安定的な確保に、大きく貢献できるものと考えております。

しかし、昨今、OA化に代表されるハイテクの波は、工場や事務所に限らず、一般家庭におけるエレクトロニクス機器、二百ボルト機器の普及を促し、お客様は、質の高い安定的な電気の供給を、より一層希望される

ようになつてまいりました。

この様な状況は電気工事業界におかれましても同様で、皆様がお客様より、一層高度で広範な知識を期待される時代に入ってきたものと推察いたしております。

その意味で、豊かな現代社会を電気を通して支えている皆様と、私共が、一緒に手を携え、社会の要請に応える様、益々の努力を続けていかねばならないと考えております。

また本年、私共の会社では、これまで以上に「地域、お店組織体制の見直し」を計画いたしておりますので、

本年も、当社に対するご理解、ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、組合員の皆様とご家族の方々のご健勝と、貴組合のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。

役員会だより

第七回役員会

一一・一一・一二一

一、慶弔報告

(1) 須藤電気商会代表者ご母堂逝去

二、貸付報告

四社 一六〇万円

三、各支部報告並提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催し、経過報告をしました。

八支部では、北電の温水器展示即売会に協力を

いた。

四、総務委員会事項

- (1) 会計の中間監査報告
- (2) 第八回電気工事業全国大会の参加費用について
- (3) 組合の新年宴会について

日時、場所、会費等について審議決定した。

組合員の消息

一、十一月下旬

(有)吉岡電気工業所代表取締役吉岡成
彰殿病氣入院(十二月下旬退院)

一、十一月十八日

ツカ電工代表者塚田喜代春殿
ご尊父塚田喜代次殿ご逝去

一、十二月十三日

(有)岡田電気商会代表取締役田
忠男殿ご尊父岡田辰之助殿
ご逝去

- (4) 支部運営費の支出について
- (5) 一支部員当り一、〇〇〇円を支出する。
- (6) 年末・年始の業務について
- (7) 御用仕舞 一二月一八日
- (8) (7) 事務局職員の冬期手当について
- (9) 正副理事長に一任
- (10) 北海道の最低賃金について
- (11) 北海道電気工事業協同組合連合会々長表彰について
- (12) 後藤理事を推せんすることに決定
- (13) 雇用保険金不正受給防止について
- (14) 年末年始における電設工事申込について
- (15) 地区北工連絡会について
- (16) 主任電気工事士研修会について
- (17) 泊原子力発電所および札幌ディパタウン見学研修会について
- (18) (17) 技術委員会事項
- (19) (18) (17) (16) 正副理事長に一任
- (20) (19) (18) (17) (16) 北海道の最低賃金について
- (21) (20) (19) (18) (17) (16) 年末年始における電設工事申込について
- (22) (21) (20) (19) (18) (17) (16) 地区北工連絡会について
- (23) (22) (21) (20) (19) (18) (17) (16) 主任電気工事士研修会について
- (24) (23) (22) (21) (20) (19) (18) (17) (16) 泊原子力発電所および札幌ディパタウン見学研修会について

組合行事

11日	北支部会議	12月4日	正副理事長会議	13日	函館地域雇用協議会に坂本事務局長出席 （於合同庁舎）	14日	道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理 務局長出席	15日	函館地区団体事務長会研修会に坂本事務局 長出席	16日	函館関税会々議に大倉理事長出席（於国際 ホテル）	17日	赤川支部会議	18日	道電気工事業厚生年金基金役員会に大倉理 事長出席（於札電協）	19日	函館関税会々議に大倉理事長出席（於国際 ホテル）	20日	商工懇話会講演会に坂本事務局長出席 （於ホテル函館ロイヤル）	21日	函館地区団体事務長会研修会に坂本事務局 長出席	22日	平成二年度下期地区北工連絡会（於組合会 議室）	23日	いなづま編集会議	24日	中渡島支部会議	25日	八雲支部森ブロック会議	26日	福島支部会議	27日	道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理 事長出席（於札電協）	28日	道電気工事業厚生年金基金役員会に大倉理 事長出席（於札電協）	29日	平成二年度年末特別融資委員会	30日	函館市自衛隊協力会議に坂本事務局長出席 （於函館ハーバービューホテル）	31日	平成二年度年末特別融資委員会				
7日	道工業組合正副理事長会議に大倉理事長出 席	7日	泊原子力発電所および札幌ディバータウン 見学会に大倉理事長ほか十一名参加	76日	函館地区団体事務長会研修会に坂本事務局 長出席	11日	北支部会議	12月4日	正副理事長会議	13日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席	14日	東支部会議	15日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席	16日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席	17日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席	18日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席	19日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席	20日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席	21日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席	22日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席	23日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席	24日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席	25日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席	26日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席	27日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席	28日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席	29日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席	30日	函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事 務局長出席

組合員の異動

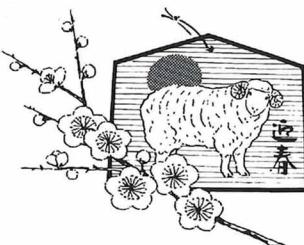
〔新〕

〔旧〕

一、大鎌電気株（赤川支部）
代表取締役 大鎌哲雄 代表取締役 大鎌政雄
(南)乙部電気工業所（江差支部）
尔志郡乙部町緑町八一 尔志郡乙部町元町一八四



謹賀新年



監	事	佐	藤	林	佐	鈴	酒	谷	大	加	後	西	佐	吉	佐	理
タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ
事	香	佐	田	佐	藤	木	井	木	大	上	藤	岡	々	々	々	事
事	好	佐	稻	佐	稻	木	勝	木	大	加	大	又	木	田	藤	事
理	秀	佐	勝	佐	史	勝	哲	大	大	大	大	三	佐	吉	佐	理
事	成	佐	雄	佐	生	雄	哲	大	上	上	上	三	々	田	吉	事
副	要	佐	優	佐	弥	雄	雄	大	加	加	加	大	佐	吉	佐	副
理	夫	佐	優	佐	一	雄	雄	大	大	大	大	大	々	田	吉	理
事	明	佐	雄	佐	一	雄	雄	大	上	上	上	上	木	吉	吉	事
長	夫	佐	雄	佐	一	雄	雄	大	大	大	大	大	木	田	吉	長
細	次	佐	雄	佐	一	雄	雄	大	上	上	上	上	木	吉	吉	細
川	要	佐	雄	佐	一	雄	雄	大	大	大	大	大	木	田	吉	川
倉	夫	佐	雄	佐	一	雄	雄	大	上	上	上	上	木	吉	吉	倉
政	明	佐	雄	佐	一	雄	雄	大	大	大	大	大	木	田	吉	政
伸	夫	佐	雄	佐	一	雄	雄	大	上	上	上	上	木	吉	吉	伸

平成二年度の永年勤続者表彰式が、十一月二十二日組合三階大會議室において被表彰者、来賓、組合役員等関係者約五十名が出席して挙行された。

最初に大倉理事長が「電気工事業という仕事は地味ではあるが、皆さんの尽力でレベルアップしてきていい。今後もより一層の努力により、企業ならびに業界の発展に期待する」と激励した。

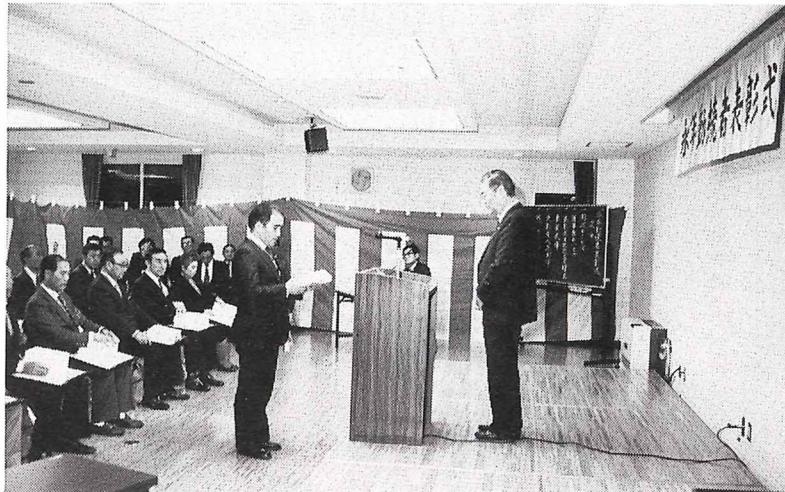
このあと勤続二十五年以上六名をはじめ二十四名の永年勤続者一人一人に表彰状と記念品を贈り、永年の労をねぎらった。

次いで、北電函館営業所の平尾康二所長が「二十一世紀に向けて高度情報化社会となるが、電気はその重要な役割を担う。これからも技術習得と後進の指導育成に努めてほしい」と祝辞を述べ、最後に受賞者を代表して組合事務局の越田治氏が「本日の表彰を機として心を新たに企業ならびに業界発展のために努力する」と謝辞を述べた。

このあと、今までの労をねぎらい又今後の健闘を祈つてささやかながら和気あいあいの裡に懇親会のひと時を過ごし閉会した。

なお、例年のことであるが、この時期の表彰式は受賞者の欠席が多いので、向後どのような形で開催するか検討することとなつた。

◇
◇
◇



永年勤続者表彰式

組合三階大會議室にて開催

平成二年度永年勤続者表彰名簿

(敬称略)

勤続25年以上	勤続20年以上	勤続15年以上	勤続10年以上	事業所名
6名	7名	5名	6名	氏名
大倉電気工業(株)	大倉電気工業(株)	大倉電気工業(株)	大倉電気工業(株)	大倉電気工業(株)
岩越電機商会(株)	岩越電機商会(株)	松山電気工業(株)	松山電気工業(株)	佐藤誠司
共栄電気工業(株)	共栄電気工業(株)	池田電気工業(株)	池田電気工業(株)	浅野直治
(有)大倉電気工業(株)	(有)大倉電気工業(株)	森井信成	森井信成	佐藤善孝
同右	同右	辻齊	辻齊	近藤勝則
同右	同右	藤田豊	藤田豊	茂庭繁光
同右	同右	井内治	井内治	松本勝治
同右	同右	澤治	澤治	佐藤誠司
同右	同右	雄樹	雄樹	佐藤誠司
同右	同右	正治	正治	佐藤誠司
同右	同右	一克	一克	佐藤誠司
同右	同右	治	治	佐藤誠司
同右	同右	孝	孝	佐藤誠司
同右	同右	信	信	佐藤誠司
同右	同右	達	達	佐藤誠司
同右	同右	名	名	佐藤誠司
同右	同右	渡	渡	佐藤誠司
同右	同右	坂	坂	佐藤誠司
同右	同右	西	西	佐藤誠司
同右	同右	林	林	佐藤誠司
同右	同右	井	井	佐藤誠司
同右	同右	正	正	佐藤誠司
同右	同右	幸	幸	佐藤誠司
同右	同右	俊	俊	佐藤誠司
同右	同右	昇	昇	佐藤誠司
同右	同右	一	一	佐藤誠司
同右	同右	貢	貢	佐藤誠司
同右	同右	子	子	佐藤誠司
同右	同右	男	男	佐藤誠司

北海道電力株泊発電所見学記

見
学
記

北海道電力株泊発電所を見学したいという当組合の要望を北電函館営業所が、心よく受け入れて企画された泊発電所ならばに札幌ディバタウン見学会が、十二月六・七日にかけて実施され、北電函館営業所から高木次長、猪口お客様セントラル課長ほか四名、組合からは大倉理事長ほか十一名の計十八名が参加した。

車中、高木次長、大倉理事長の挨拶があり、参加者一同自己紹介をすませ、バスガイドのユーモラスなお天気祈願に全員神妙に従つたあと、泊発電所の紹介ビデオテープを観覧しながら師走の国道五号線を一路泊村えと向かう。

黒松内から道々入り、寿都町を通り波荒い日本海に面した奇岩絶壁の雷電海岸を走る。岩内町の市街を抜けるとはるか前方に目的の北海道電力株泊発電所が目に入る。午前八時三十分組合会館を出発してから約四時間、車窓の左手に来年六月オープン予定の原子力PR館（仮称）を過ぎると、プレハブ二階建の同発電所広報分室に到着した。

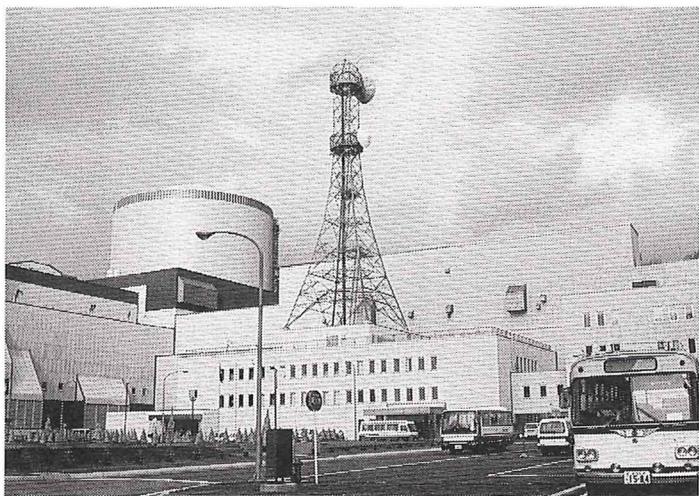
早速広報分室二階会議室に案内され、北電函館営業所の営業課長のときに顔馴染の館岡広報分室次長に迎えられた。用意された昼食を御馳走になり、館岡次長のユーモアを交えての施設の概要説明、地域住民のコンセンサスを得るために苦労話を聞いたあと、本館構内に向った。

先づ構内高台にある展望台に案内された。ここからは構内、専用港が一望出来、想像以上に広く整然とした構内風景に驚嘆しながらも、余りの風の強さに居た

たまらず慌てて記念撮影をすまして本館建物に向った。

外観で気がつくのは、火力発電所に比較して建物全体の高さが低く、円筒形の原子炉建家が二基あり、煙突がない。資料によれば知内火力発電所の建家高さが約五十六メートルに対して泊発電所の高さは約四十三メートルである。

電気の最高出力は現在稼働中の一号機、試運転中の二号機ともに五十七万九千キロワットで、二基がフル稼

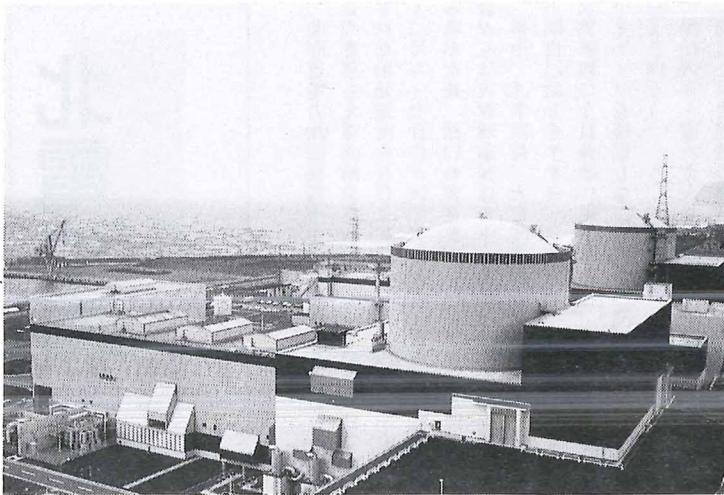


働すると百十五万八千キロワットで、北海道内の電気使用量の約三分の一をまかなうことが出来るという。ちなみに知内火力発電所の最高出力は三十五万キロワットである。

いよいよ本館内部に入る。出入口はゲートになつて居り、カードを使用し暗唱番号によって開閉するところで、我々は見学者用のゲートを開けて貰い中にいる。

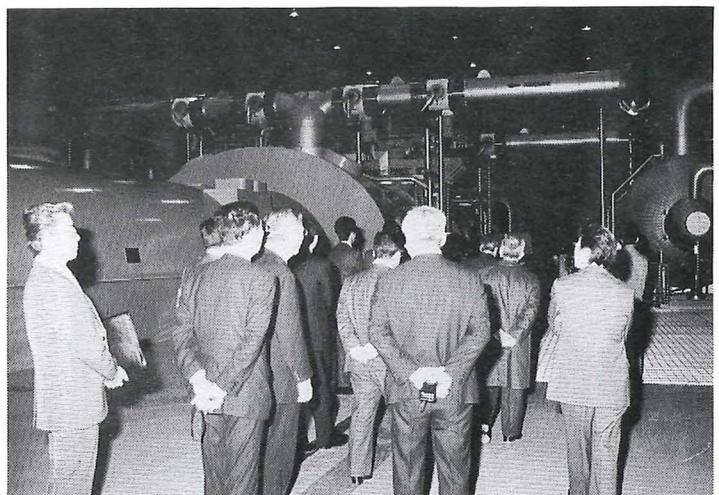
発電所を見学するたびに驚嘆させられるが、広い建物の中に塵ひとつ落ちていない。平素狭い事務所でさえなかなか綺麗に出来ないのだと考えさせられる。

一号機原子炉補助建屋、原子炉建屋、タービン建屋そして最後に中央制御室と詳細に説明を受けながら見学したが、要所要所の扉は入口ゲートと同じように入ードと暗唱番号によらなければ開閉出来ないようにな



つていた。案内を受けながら余り社員に逢わないような気がしたが、この発電所には北電の社員だけ約三百八十人が三直四交替で勤務しているとのことである。約一時間の見学を終えたが、最新を誇る泊発電所の設備が自然条件に耐えること、故障や誤操作・誤動作を防止することのほか環境保全の確保を含め館岡次長が力説した安全の確保、無事故確保という基本理念が充分に織り込まれた設計であることが納得させられたのである。

お礼を述べて、札幌えに向かうべく身を委ねたバスの車窓からは近在町村のモダンな公共施設が目に映り、これも泊発電所の陰の力なのかと考えさせられながら北電から差入れのビールで喉をうるおし、今夜の宿泊先である北電一条クラブへと向った。



午後六時、同所において夕食を兼ねて軽い懇親のひと時を過ごし、午後十一時の門限が気になるのか明日の行程が気になるのか、珍らしく一人の外出者もなく床についた。

翌日、午前十時から約一時間ディパタウンを見学したが、どの建物も最新の設備と空間を充分にとった一世帯・二世代型でさすがと見学者をうならせたが、どの建物も五千万円以上と聞いて、庶民には高嶺の花といふ結論が出た。

帰途中山崎で昼食をご馳走になり、国道二三〇号線を一路南下、午後五時三十分全行程を終え無事帰函し上ります。ありがとうございました。



窓 雑感

その一

社長と従業員が一緒に来組、社長は忙しそうに電設の手続をしながら材料を注文する。その間従業員はベンチに腰を降ろし自動販売機から買ったジュースを飲んで待っている。

社長が材料を車に積み終えると、従業員は立ち上がり助手席に、社長が車を運転して帰れる。この金の卵は瞬時に要を降ろし自動販売機から買ったジュースを飲んで待っている。

その二

社長は社名の書いた古びた軽四輪車で来組する。従業員は同じ社名のワゴン車で来組。これも人手不足のあたりだろうか。

その三

窓口で用事を足して帰ったそのあとには、仮設現場から直行したのだろうか、いたる所泥んこ。会館の入口には沓洗いもあるのだが寸分も惜しい程多忙なこの頃かと思う。

その四

斜に止める人、他車の後にくつついで止める人、駐車場の入口に止める人、駐車の方法にも性格があらわれれるような気がする。

「最低賃金を守りましょう」

北海道の最低賃金

地域包括最低賃金

平成2年10月1日発効

最低賃金の件名	最 低 貨 金 額		適 用 労 働 者 等 の 範 囲
	日 額(円)	時 間 額(円)	
北 海 道	3,958	495	道内のすべての事業場で働く労働者に適用されますが、下記の産業に働く労働者については、それぞれの産業別最低賃金が適用されます。

産業別最低賃金

昭和63年11月12日発効

最低賃金の件名	最 低 貧 金 額		た だ し 、 次 に 揭 げ る 労 働 者 は 北 海 道 地 域 包 括 最 低 賃 金 が 適 用 さ れ ま す 。
	日 額(円)	時 間 額(円)	
食料品・飲料・飼料製造業	4,091	512	1 18歳未満又は65歳以上の者 2 雇入れ後3月末満の者であって、技能習得中のもの 3 清掃、片付けその他これらに準ずる軽易な業務に主として従事する者 4 手作業による洗浄、皮むき、選別、包装又は箱詰めの業務に主として従事する者 5 水産食料品製造業、その他の食料品製造業（でんぶん、めん類、豆腐、冷凍調理食品、そう（惣）菜製造業等）、茶・コーヒー製造業又は製水業に係る業務に従事する者
織維工業	3,962	496	1 18歳未満又は65歳以上の者 2 雇入れ後6月末満の者であって、技能習得中のもの 3 清掃又は片付け又は炊事の業務に主として従事する者 4 ニット手袋製造業、製縫業又は衣服、その他の織維製品製造業に係る業務に従事する者
木材・木製品・家具・装備品製造業	4,175	522	1 18歳未満又は65歳以上の者 2 雇入れ後6月末満の者であって、技能習得中のもの 3 清掃、片付け又は炊事の業務に主として従事する者 4 組木・同製品製造業、割ばし製造業又はアイスティックバー製造業に係る者（機械の操作又は調整の業務に主として従事する者を除く。）
パルプ・紙・重包装紙袋・段ボール箱製造業	4,266	534	1 18歳未満又は65歳以上の者 2 雇入れ後3月末満の者であって、技能習得中のもの 3 清掃、片付け又は炊事の業務に主として従事する者 4 手作業によるこん包、選別又は運搬その他これらに準ずる軽易な業務に主として従事する者 5 加工紙製造業、紙製品製造業、紙製容器製造業（重包装紙袋製造業及び段ボール箱製造業を除く。）又はその他のパルプ・紙・紙加工品製造業に係る者
出版・印刷・同関連産業	4,223	528	1 18歳未満又は65歳以上の者 2 雇入れ後6月末満の者であって、技能習得中のもの 3 清掃、片付けその他これらに準ずる軽易な業務に主として従事する者
窯業・土石製品製造業	4,174	522	1 18歳未満又は65歳以上の者 2 雇入れ後6月末満の者であって、技能習得中のもの 3 清掃、片付けその他これらに準ずる軽易な業務に主として従事する者
機械・金属製品等製造業及び自動車整備業 <small>機械修理業を含む。 道路運送車両法第77条の自動車分解整備事業を含む。</small>	4,240	530	1 18歳未満又は65歳以上の者 2 技能習得等に係る次に掲げる者 イ 雇入れ後6月末満の者であって、技能習得中のもの ロ 自動車の整備業又は道路運送車両法第77条の自動車分解整備事業に係る者のうち、雇入れ後1年末満であって、当該職種の業務に主として従事した期間が技能習得期間を含め通算して1年末満のもの 3 清掃、片付け、整理、炊事その他これらに準ずる軽易な業務に主として従事する者 4 みがき又は塗油の業務に主として従事する者
卸売業	3,985	499	1 18歳未満又は65歳以上の者 2 雇入れ後6月末満の者であって、技能習得中のもの 3 清掃又は片付けの業務に主として従事する者

<注> 1 機械・金属製品等製造業とは、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業をいいます。

2 上記の最低賃金額には、精勤助手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金、時間外割増賃金等は算入されません。

3 上記の産業別最低賃金は制度の見直しにより金額改正は行われませんが、今後は関係労働者又は関係使用者からの申し出に対し、必要と認められたものについてのみ新しい産業別最低賃金が設定されます。なお、新しい産業別最低賃金としてこれまでに、①「乳製品、糖類製造業」、②「鉄鋼業」、③「電気機械器具製造業」及び④「船舶製造・修理業、船体プロック製造業、舟艇製造・修理業」の4業種について最低賃金の設定が決定されており、現在、金額について調査審議が行われています。

※ 最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反となり处罚されることがあります。

労働保険（労災保険・雇用保険）の加入手続きはお済みですか

労働者を一人でも雇用する会社・商店などは、必ず労働保険に加入しなければなりません。

最低賃金又は労働保険についての詳しいことは、北海道労働基準局（電話011-709-2311番）若しくは最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。

北海道労働基準局・函館労働基準監督署

この表を、労働者の見やすい場所に掲示してください。
(最低賃金法第十九条)

明けましておめでとうございます

時代の変化にこたえる感性
総合販社

東芝E&S北海道株式会社

函館支店

040 函館市大繩町二十二番十四号
電話 四一一一二四一

吟味する

松下電工株式会社

函館出張所

函館市西桔梗町五八九番地一〇七
電話 函館 四九一一五二五

工事材料・電化製品

丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九一四九
電話 四九一一三一三

電気設備機器資材の総合卸商社

大興電機株式会社

本社 函館市西桔梗町五八九一〇七
営業所 山越郡八雲町内浦町一〇七
電話 (030) 3133-6907

電設資材・機電総合卸

進和電機株式会社

040 函館市松川町三四一
電話 四二一六二三一

明日をひらく電設資材の総合卸商社

工ミヤ商會

株式会社

函館営業所

函館市富岡町一丁目四一
電話 四三一三〇一(代表)
本社 札幌・営業所 鉾路、苦小牧

電気工事材料
音響通信機器
総合商社

石垣電材株式会社

本社
函館営業所
支店
040 063 060
函館市西桔梗町五八九一〇七
○市一小牧〇市中央区北八条西二
一市一新中野町二二二二
三中八島五町三一丁目一九
五町四丁目一九
五町六丁目一九
四番四番
二一三七番
二一五番
代号代号
番地番地

日松下電工(株)代理店
立電線(株)特約店

北進商事株式会社

F函館市的一場町十九番二十二
A話 (030) 555-1122
X五五
五五
五一
一三
七二
四〇
一五
号